

## 第2回 武蔵野市図書館運営委員会の主な内容

日 時 平成 22 年 9 月 9 日 (木) 午後 6 時 30 分～8 時 15 分  
場 所 吉祥寺図書館 2階集会室  
出席委員 糸賀雅児 太田早苗 桂 まに子 竹田照子  
船崎 尚 増澤 強 松山 巖 毛利和弘

### 会 議 次 第

#### 1 開会

#### 2 前回会議要録の確認

訂正箇所等について事務局で取りまとめ、発言者名を「委員」と修正のうえ図書館ホームページへ掲載することとした。

#### 3 議事

事務局より図書館サービス評価システムと配布資料「平成 22 年度～平成 26 年度 図書館基本計画の取組状況（事業進捗評価）（案）」（以下、「事業進捗評価」）、「武蔵野市立図書館サービス評価システム評価表（案）」（以下、「システム評価表」）についての説明を行った。

委員長 今の事務局説明に対しご質問、ご意見をお願いします。

委 員 配布資料が二種類ありますが、この二つの関係を教えてください。

事務局 「事業進捗評価」は皆様に策定頂いた図書館基本計画の進捗状況を確認、管理し、評価を行えるようにと思い作成しました。「システム評価表」は現在すでに行っているサービスを評価するために「事業進捗評価」には載っていないものも含めた形とし、同時に数値を載せました。

最終的なサービス評価を行う際には利用者満足度調査としてアンケート等を行い、その結果も合わせて判断頂ければと思っております。

委 員 今の説明を伺っても、二つの表の関係がわかりません。例えば「事業進捗評価」の「基本施策 7-①-レファレンスサービスの充実」には事業が数項目ありますが、「システム評価表」2 頁「レファレンスサービス」に関する数値で上げられた項目は、関連している内容ですが二つの表が相互にどう対応しているのか見えてきません。両者の関係をはっきりさせて下さい。

事務局 事務局としても、二つの資料の絡め方が難しく、一つの表に盛り込むことができなかつたため、今回は分けてお示ししました。

委 員 「システム評価表」はどこの図書館でも公表するような基本的な数値だと思いますが、基本的数値である資料亡失数が載っていないなどありますので項目の選択についても検討をお願いします。

「事業進捗評価」は事業計画の明細にあたるものですが、「システム評価表」との整合性を取らないと資料として読めません。どこに対応するかも見づら

いため「事業進捗評価」の中へ直接数字を埋め込み、分かりやすくして下さい。項目も、大項目として設定するのか、より詳しく読ませるための明細とするのかを明確にしていく必要があります。

また、基本的なことですが「システム評価表」の各数値には円・件といった単位の明記をお願いします。

それから図書館費の平成 26 年度目標値を載せて頂きたいと思います。やはり目標値がないと評価ができません。例えば人口規模が同じ位の自治体にある公立図書館から上位 10 館を選び、その平均値を参考に目標値を出した後、達成率を計算すると評価がしやすくなります。

評価の内容欄についてはもっと細かく考えるべきです。内容欄を二つに分け右側に着眼点・評価方法を、左側に改善点・課題・改革事項を載せるようにしてはいかがでしょうか。この左側の部分をきちんと記載し確認することで、段階的に目標達成へと繋げていくことができます。今後、年一回の評価を行うと思いますが、課題や改善点を記入する欄を設けるなど、評価をしやすくする工夫が必要です。

委員長 他のご意見はいかがでしょうか。

委員 事務局が、この配布資料をどういう意図で作られたか分かりません。「システム評価表」は定量的に作った統計的な資料、「事業進捗評価」は数量的には表しにくい定性的な事業に対応するののかも思いましたが、そうではない部分も多く整合性もないようです。やはり、「事業進捗評価」へ落とし込めるものから「システム評価表」の数値は入れていき、また定性的、質的なものは最終目標が 100%であるならば、初年度は 20%達成、次年度には 40%達成したというように、分かりやすく表示してはどうでしょうか。

専門家でもこの二つの資料を重ね合わせて見るのが難しいので、もっと分かりやすく整理して頂きたい。

事務局 今までに頂きましたご意見を反映させ、次回お示ししたいと思います。

委員 全体的なこと以外に細かい点についてもよろしいでしょうか。

「システム評価表」に登録人数が載っていますが、それは有効登録者数でしょうか、それとも全く利用していない人も含めた単純な登録人数でしょうか。通常は一年に一回以上利用している有効登録者数を集計している場合が多いため、他との比較研究のためにも有効登録者数を集計し表記も正確をお願いします。

リクエストサービスの件数も単なる予約リクエストなのか、新規購入希望なのか分かりません。また、相互貸借の数値には借り受け冊数も載せることで、貸出冊数と比較した場合の蔵書充実度が判断できるようになります。借り受け冊数や貸出冊数の目標値を出すことは難しいと思いますが、評価へと繋げていくことができますので、数値項目の内容をぜひ整理して下さい。

また、「こどもまつり」「どっきんどようび」などは集会行事だと思います。

一つの大項目にまとめ、内容・実施回数・参加人数を明細としてはどうでしょうか。事業項目も整理し集計的な記載への変更をお願いします。

委員 「システム評価表」6頁の郵送貸出は数値が空欄です。現在の状況を教えてください。また最後の「6 市民や関係機関との連携したサービスに関する評価」は大学図書館のみでとても淋しく感じます。将来的にはもっと広がっていく事業だと思いますので内容の充実をお願いします。

委員長 郵送貸出の件数について、現在の状況はいかがでしょう。

事務局 現在も既に行っております。数値がもれておりまして申し訳ありません。

委員 情報資料の提供の中に「週刊誌」とありますが、どういう意味でしょうか。

事務局 「週刊新潮」の記事を抜粋のうえ音訳し、郵送しています。

委員 この表記では意味が判らないと思います。

委員 図書館運営委員会が評価・判断するには、まず図書館の目標や方向性がわからないとできません。数値目標を年々増加させ、拡大の一途を目指すのは現実的には無理があり、実際には現状維持や縮小させる部分が必要になります。図書館が重点を置く部分はどこで、縮小・減少を考えているのは何かという図書館としての方向性が見えないと結果比較が出来ないため評価は出来ません。例えば、蔵書の充実という事業では十進分類法のどの分野をより充実させたいか具体的な目標を掲げ、それを数値目標にも反映させてあれば分かりやすくなります。図書館運営の大きな方向性を議論していき、実現のためにはこういう事業が必要で、そのためには予算が欲しい、あるいは必要な人材を集めなければならないというような具体性の高い目標を示してもらえれば、図書館運営委員会からの提案もそれに沿ったものが出せます。運営方針とあわせて評価させて頂きたい。

委員長 今までのご意見を参考にしながら、次回までに良い指標を作って頂きたいと思います。

委員 武蔵野プレイスには多数の雑誌が入り大変充実すると思いますし「事業進捗評価」事業26にも載せてあります。良い評価結果が期待できると思いますが、「システム評価表」には逐次刊行物が抜けています。ぜひ、整合性を確認し数値を入れて下さい。

委員 リクエストサービスの受付総数と提供件数が毎年同数ですが、通常、受付総数よりも提供件数が少なくなると思います。提供割合100%ということでしょうか。

事務局 受付総数の数値に誤りがありました。申し訳ございません。リクエスト受付総数はこれまで集計していませんが、現在の提供状況は他の図書館から取り寄せ充足できたもの、購入し提供したものを合わせほとんどのものが提供できています。提供割合は90%を超えていると思います。

委員 今後はどのように充足したかがわかるように、より細かい統計を取って頂きたいと思います。

- 委員 「システム評価表」1頁個人貸出には利用者または市民一人当たりの貸出数を2頁レファレンスサービスでは参考資料数を出すなど、よりきめ細かく集計してはいかがでしょうか。今まで集計されていないようであれば、今後、集計されてはどうでしょうか。
- 事務局 レファレンスサービスで使用するような参考図書資料の数は集計しています。蔵書別統計の中で載せていきたいと思えます。
- 委員 市内地域別の登録者は緑町・吉祥寺北町が多く、桜堤や境南町が低くなっています。登録数が低い地域へのサービス向上、地域格差解消に対応する事業項目はありますか。
- 事務局 地域格差を減らすのは政策課題だと思っております。また、武蔵野プレイス開設後は、境・境南町をはじめ数値に変化が生まれると予想しております。
- 委員 どこでも同じようなサービスを受けられるようにするという施策はあるのでしょうか。
- 事務局 「事業進捗評価」1-①施策ごとの目標に掲げています。
- 委員 「事業進捗評価」1-①施策は公共施設を利用とありますので、地域格差解消の方法はコミセン等の活用、困難地域にある小中学校、あるいは地域団体への広報活動などが考えられますが、評価を行う際には何で判断するのでしょうか。登録率の向上、あるいは図書館資料を貸出す施設の増加、貸出数の増加、いろいろ考えられると思いますが、現在の形では何で判断するかがわかりません。図書館の方向性に見合うわかりやすい数値目標を立て、判断評価が出来るようにして下さい。
- 委員 資料を理解するのがなかなか難しいと感じています。「システム評価表」は現在行っているサービスを数値で表しまとめたものと理解しましたが、その中で一部の項目のみ平成26年度目標が入っています。目標値が既にありますが、重要項目ということでしょうか。
- 事務局 重要ということではなく、現時点で目標値が立てやすかったかどうかの違いです。
- 委員 まだよくわからない部分もあるのですが、「事業進捗評価」で上げた施策のうち安全面の確保につながるものは、すぐに実現すよう努めて頂きたいと思えます。武蔵野プレイスは午後10時まで閉館するとのことですので、安全面については検討されていると思いますが、青少年の利用なども考え安全面の確保は優先的に実現するのが当たり前と感じます。
- 委員長 施策が100項目もあると、すぐに実現するのは難しい面があると理解できます。
- 事務局 安全・安心は市の問題としても捉えています。施設の改修で行える部分については、予算確保にむけての要求をすでに行っております。ただ、今年度中の予算確保は時期的に難しいために△になっている部分があります。
- 委員 学校ネットワークシステム完成は随分先のように感じますが、いかがでしょ

うか。

事務局 図書館ではまず物流システムの構築を考えています。情報ネットワーク部分になりますと指導課との連携が必要になってきますし、今ある図書館システムと結んだネットワーク構築となりますと、確かにかなり先になると思います。

委員 学校にふさわしい資料は何かということをお示し頂けますか。電撃小説や携帯小説は学校におく資料としていかがなものでしょうか。

事務局 電撃小説はメディアワークスが出版している電撃文庫というヤングアダルト向きの文庫のことではないでしょうか。ライトノベルにあたりますが、内容はそれぞれ異なるため電撃文庫全体が学校に向かないということはありません。各作品によって判断すべきかと思います。

委員 防火・防災対策は現在、問題等あるのですか。

事務局 耐震というような構造部分は問題ありませんが、経年劣化により設備機器の改修が必要になってきています。昨年は、スプリンクラーの配管が破裂し天井裏への水漏れや、火災警報器の誤作動が起きました。

委員 委員のおっしゃる安全面の確保とはどのようなことをお考えですか。

委員 通路の明るさ確保などです。考慮されていると思うのですが、夜間開館時に青少年が安全に使える施設であって欲しいと思っています。

委員 この運営委員会では安全面の確保方法について検討するわけではなく、施策の評価方法を検討し評価していきます。

「事業進捗評価」事業番号 12 の目標は「犯罪行為をゼロにする」となっていて犯罪があることを前提としています。もし犯罪件数がゼロであったとしても、そういう数値結果から対策が進んだと評価するのは疑問に思います。

事務局 おっしゃる通り、例えば巡回警備員が二倍になったという数値があつたとしても、それが安全になったことを表しているとは言えません。評価や判断がとても難しいと思います。

委員 「事業進捗評価」事業番号 9・10・11 は数字で表すのが難しいため、一概にこの運営委員会で評価する必要があるのか、この項目の中での事業評価方法になじむのか疑問です。また、先ほどお話の出た「事業進捗評価」事業番号 54 は学校図書館との配送システムの構築と方法が決っているのであれば、例えば最終目標は「毎日一便、図書館と全ての学校間を積載冊数の多い車が巡回する。」というように打出し、月に数回であった巡回が、週一回、週二回と増え、やがて毎日配本するとか、配本する本の量が増えていく等分かりやすい指標を出して頂きたい。評価することを考慮し、判りやすい目標設定や書き方を考えて下さい。

委員 「実績・評価等」の欄に評価の点検項目を挙げていただくと良いと思います。やはり表の右側は詳しく入れて頂けるようにして下さい。

委員長 この委員会はあと 2 回の開催です。その中で、より良い評価内容を考えて行

きたいと思います。

委員 「事業進捗評価」事業番号 19 はすべての年度に△というのはいかなものか  
と思います。今年度は検討中なので△だとしても、今後は実際の評価をしながら  
検討していき、せめて平成 24 年位には、◎になっていくべきです。マー  
クの付け方も整理して下さい。

次回日程は、12 月 1 日（水）午後 6 時 30 分から吉祥寺図書館 2 階集会室